

NEJIREBANE, No. 81, 15. Dec., 1998

三重県産コメツキムシの記録(4)

岸井 尚

〒569-1044 高槻市上土室1丁目 10-6-410

これまで3回に亘り、主として生川展行氏が蒐集された三重県産の種について報告してきたが、今回は生川氏を通して検する機会に恵まれた市川太氏の採集された資料について若干の知見と共に報告する。計63種あり、内2種は三重県初記録となるもので、また1種は以前神島から記録された例があるが、県本土からは記録のないものであった。

Pectocera hige hige KISHII, 1993 ヒゲコメツキ

四日市市小牧町北：2♂♂, 4.V.1997, 燈火。

Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus (MOTSCHULSKY, 1861) サビキコリ

上野市高山坂下林道：1♀, 18.V.1997. 上野市白樫岡八幡宮：1♂, 3♀♀, 29.VI.1997, 燈火。松阪市松名瀬海岸：1♂, 29.VI.1996, 燈火。

Agrypnus (Colaulon) scrofa scrofa (CANDÈZE, 1873) ヒメサビキコリ

松阪市松名瀬海岸：1ex., 29.VI.1996, 燈火。菰野町尾高：1ex., 7.IX.1996; 4exs., 4.VII.1997, 燈火。

Agrypnus (Colaulon) hypnicola (KISHII, 1964) コガタヒメサビキコリ (写真1, a & b)

四日市市小牧町：1♂, 12.V.1984, 生川展行 leg. (写真a)。四日市市小牧町北：1♀, 9.V.1995 (写真b)。

上記の雌の資料(写真b)は典型的な本種の特徴を持っているが、雄(写真a)の方は別種の可能性の高いものである。この雄の資料は今回送られてきたものでなく、1988年9月11日に生川氏から同定を依頼されたものであった。前報に漏れていたのに気づき載せたのであるが、当

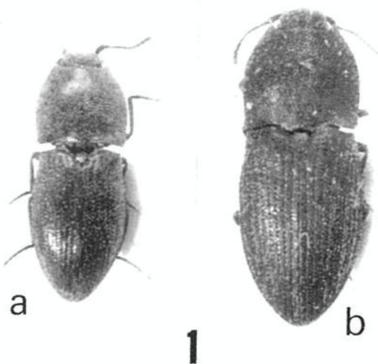


写真1. コガタヒメサビキコリ, a: ♂, b: ♀.

時同定の結果をお知らせした中で、*hypnicola* とはかなり異質な個体であるという返事を差し上げた記憶がある。大変小型(ca. 6.75mm)、一様に赤褐色、全身が殆ど蠟状物質で被われることなく、小楯板基部後方側縁が強く明瞭にえぐられるように狭まるなどの点で別種の可能性の強い個体であるが、単一個体なので更に複数資料が得られるのを心待ちにしていたものである。しかし、生殖器構造での違いは極めて僅かである。一見 OHIRA (1967) が伊豆大島から記載した *scrofilia* によく似た感じもする。むしろこの方が *hypnicola* に近いようでもある。

Adelocera (Brachylacon) difficilis (LEWIS, 1894) シロオビチビサビキコリ

尾鷲市須賀別：1♂, 19.I.1997, 落葉下9cm., 10.8℃. 伊勢市島路：1♂, 2♀♀, 21.VII.1997.

Lacon (Lacon) parallelus parallelus (LEWIS, 1894) コガタノサビコメツキ (写真2)

四日市市 小牧町北：2♂♂, 4.V.

1997, 燈火. 尾鷲市九木神社：1♂,

7.VI.1997.

燈火または樹皮下で得られるが、多いものではない。この10年あまりに亘り検してきた三重県全域からの資料では、今回の3頭が初めてのものであった。

Lacon (Alaotypus) maeklinii maeklinii

(CANDEZE, 1865) オオサビキコリ

海山町不動谷：1♀, 2.IX.1995. 大

内山村南亦山：1♂, 30.VII.1995.

宮川村大台ヶ原栗1♀, 10.VIII.

1996, 燈火.

Cryptalaus berus (CANDEZE, 1866) ウバタマコメツキ

菰野町尾高：1♀, 28.V.1997. 伊勢市島路：1♀, 21.VII.1997.

Tetrigus lewisi CANDEZE, 1873 オオクシヒゲコメツキ

伊勢市島路：1♂, 21.VII.1997.

Prodrasterius agnatus (CANDEZE, 1873) マダラチビコメツキ

四日市市西村町朝明川：1♀, 13.IV.1996. 松阪市松名瀬海岸：1♀, 29.VI.1996, 燈火. 菰野町尾高: 1♂, 4.VII.1997, 燈火.

Ascoliocerus fluviatilis (LEWIS, 1894) キアシクロヒラタコメツキ

藤原町三国谷：1♂, 29.IV.1996.

Ascoliocerus saxatilis saxatilis (LEWIS, 1894) ヒラタクロコメツキ

藤原町三国谷：1♀, 29.IV.1996.

Elathous brunneus (LEWIS, 1894) クリイロツヤハダコメツキ (写真3)

海山町不動谷：1♂, 2.IX.1995. 宮川村大台ヶ原栗谷：1♂, 10.VIII.1996, 燈火.

原記載以後記録例を欠いていたが、最近になって比較的広い地域からの報告が相次ぐようになった。しかし珍しい種であることに変わりはなく、多くの個体が得られることはないようである。遅い発生がその原因の一つかと思われるが、三重県下からは比較的によく採集されており、これまでに北部の亀山市野登山から4雄得られていた。今回上記のように南部の宮川村と海山町から、やはり遅い時期の分布が確認されたが、これまでの三重県下からの資料はすべて雄のみである。

Limoniscus rufipennis (LEWIS, 1894) ハネアカカネコメツキ

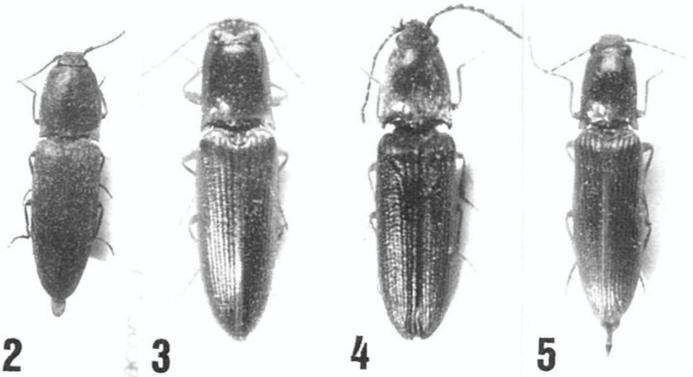


写真2-5：2. コガタノサビコメツキ；3. クリイロツヤハダコメツキ；4. ミヤマカネコメツキ；5. ホソアカツヤコメツキ。

大内山村南亦山：1♂, 8.VI.1997.

Limoniscus montivagus (LEWIS, 1894) ミヤマカネコメツキ (写真4)

美杉村平倉演習林：1♂, 3.VI.1989, 生川展行 leg. 宮川村大台ヶ原栗谷：1♂, 10.VIII.1996, 燈火. 宮川村大台ヶ原広クリ谷：1♂, 10.VIII.1996.

今までに三重県からの記録はないようであるが, 上記の平倉のものは以前送られてきたもので, 前回の報告で漏れていたものであった. *Limoniscus* 属の種は最近になり, 種分化に富んでいることが分かってきたが, 中でもこの *montivagus* は類似種が多く同定には慎重を要する.

Limoniscus vittatus (CANDÈZE, 1873) タテスジカネコメツキ

亀山市野登山：1♂, 1.V.1997.

Denticollis nipponensis nipponensis OHIRA, 1973 ベニコメツキ

大内山村南亦山：1♀, 21.V.1997.

Denticollis miniatus (CANDÈZE, 1885) ミヤマベニコメツキ

大内山村南亦山：1♂, 2♀♀, 21.V.1997.

Stenagostus umbratilis (LEWIS, 1894) オオツヤハダコメツキ

亀山市野登山：2♀♀, 2.VIII.1995, 燈火. 宮川村大台ヶ原：1♀, 11.VIII.1996, 燈火. 宮川村父ヶ谷：1♀, 18.VIII.1996, 燈火. 北勢町悟入谷：1♀, 12.VIII.1997, 燈火.

Scutellathous sp. ホソアカツヤコメツキ (写真5)

宮川村大台ヶ原栗谷：1♀, 10.VIII.1996, 燈火.

第一報でも *Scutellathous* sp. として報じたものである. その際記したように, まだ適格名のないものである. 他にも若干の未記載種がこの属にはあるので, いずれ整理の上処置したいと考えている.

Medakathous jactatus jactatus (LEWIS, 1894) メダカツヤハダコメツキ

亀山市野登山：1♂, 19.VII.1995.

Hemicrepidius (Hemicrepidius) secessus secessus (CANDÈZE, 1873) クロツヤハダコメツキ

大内山村南亦山：2♂♂, 1♀, 23.VII.1995; 1♂, 30.VII.1995. 北勢町二之瀬：1♂, 21.VI.1997. 菰野町尾高：1♂, 4.VII.1997, 燈火.

Hemicrepidius (Hemicrepidius) desertor desertor (CANDÈZE, 1873) ヒメクロツヤハダコメツキ

大内山村南亦山：2♂♂, 23.VII.1995.

Hemicrepidius (Miwacrepidius) subcaneus (MOTSCHULSKY, 1866) ルリツヤハダコメツキ

宮川村父ヶ谷：1♂, 1♀, 18.VIII.1996, 燈火.

Corymbitodes gratus (LEWIS, 1894) ドウガネヒラタコメツキ

藤原町三国谷：1♀, 29.IV.1996. 亀山市野登山：2♂♂, 20.IV.1997. 宮川村総門山：1♀, 29. IV.1997.

Paraphotistus niger (MIWA, 1928) クロオオヒラタコメツキ

四日市市宮妻峽：1♂, 27.VI.1996.

永く *praenobilis* LEWIS, 1894 の種名が用いられてきたが, *Actenicerus orientalis* CANDÈZE, 1889 のシノムとなり, 上記名称が有効名となったものである. 日本特産属で3種1亜種に分化しており, 雄生殖器の形状も独特である.

Actenicerus yamashiro KISHII, 1998 コガタシモフリコメツキ (写真6)

亀山市野登山：2♂♂, 1.V.1997.

京都市の北山地域に広く分布し, 5月上旬から6月初旬の頃多くの個体に接するシモフリコメツキである. 筆者は永く LEWIS (1879) が *Athous aerosus* の名称で紀伊半島から記載したものと同一種と見なしていたが, 最近の大平博士の研究によれば *aerosus* はヘリアカシモフリコメツキ雌個体を指すと言うことである. これに伴い, 上記の種個体群に新名が必要となり記載したものである.

筆者の検した資料の大部分は京都北山のものであるが、他に新潟・石川・福井・滋賀・兵庫の資料も検している。三重からは多くのシモフリコメツキ類の標本に接しているが、これまでに本種は見えていなかった。しかし今回初めて上記のように野登山産の2頭の雄資料を見いだした。

Actenicerus pruinus MOTSC-
HULSKY, 1861 シモフリコメ
ツキ

亀山市野登山: 1♂, 19.IV.
1997. 宮川村総門山: 1♂,
29.IV.1997.

Actenicerus aerosus aerosus
(LEWIS, 1879) ヘリアカシ
モフリコメツキ

大内山村南亦山: 1♂, 8.VI.
1997.

Acteniceromorphus chlamyd-
atus (LEWIS, 1894) ベニバ

ネフトヒラタコメツキ
四日市市 宮妻峡: 1♂, 27.
VI.1996.



6



7



8

写真6-8: 6. コガタシモフリコメツキ; 7. ウスカバイロコメツキ; 8. シラケチビ
ミズギワコメツキ.

Neopristilophus serrifer serrifer (CANDÈZE, 1873) アカヒゲヒラタコメツキ

尾鷲市九木崎: 1♀, 1.VI.1996. 四日市市小牧町北: 1♂, 25.IV.1997.

Selatossomus (Pristilophus) onerosus (LEWIS, 1894) トラフコメツキ

大内山村南亦山: 2♂♂, 28.IV.1996; 1♀, 8.VI.1997.

Gamepenthis versipellis (LEWIS, 1894) メスアカキマダラコメツキ

宮川村大台ヶ原広クリ谷: 1♂, 11.VIII.1996.

Agaripenthis helvolus (CANDÈZE, 1873) ヒメホソキコメツキ

亀山市野登山: 2♀♀, 2.VIII.1995, 燈火.

Hayekpenthis pallidus pallidus (LEWIS, 1894) ホソキコメツキ

大内山村南亦山: 1♀, 19.VIII.1995. 宮川村父ヶ谷: 1♂, 27.VIII.1995. 亀山市野登山: 2♂♂, 17.
VIII.1996.

Haterumelater bicarinatus bicarinatus (CANDÈZE, 1873) チャイロコメツキ

尾鷲市九木崎: 1♂, 13.VIII.1995. 宮川村父ヶ谷: 1♂, 27.VIII.1995; 1♂, 18.VIII.1996, 燈火; 1♀,
16.VIII.1997, 燈火.

Ampedus (subgen.?) *carbunculus* (LEWIS, 1879) ヒメクロコメツキ

四日市市宮妻峡: 1♂, 25.V.1996. 紀勢町錦: 1♀, 1.II.1997.

前報でも述べたように、本種の所属亜属については問題点が多い。

Ampedus (Ampedus) orientalis (LEWIS, 1894) アカコメツキ

亀山市野登山: 1♀, 20.IV.1997.

Ampedus (Ampedus) japonicus japonicus SILFVERBERG, 1977 アカアシクロコメツキ

尾鷲市九木崎: 1♀, 1.VI.1996. 宮川村大台ヶ原広クリ谷: 1♂, 11.VIII.1996. 亀山市野登山: 1♂, 12.
IV.1997; 1♂, 20.IV.1997; 2♂♂, 1.V.1997.

Ampedus (Ampedus) hypogastrichus hypogastrichus (CANDÈZE, 1873) アカハラクロコメツキ

- 尾鷲市三木崎：1♂, 16.I.1995. 北勢町二之瀬：1♂, 1♀, 21.VI.1997.
Ampedus (Ampedus) vestitus vestitus (LEWIS, 1894) ケブカクロコメツキ
 大内山村南亦山：1♀, 21.V.1997.
- Chatanayus ishiharai ishiharai* (NAKANE et KISHII, 1954) ウスカバイロコメツキ (写真7)
 北勢町悟入谷：1♀, 12.VIII.1997, 燈火.
 本種の三重県からの記録としては、大川(1956)が南部の阿児町鶴方から記録したのが最初で、それ以後の記録を見ないし、その後はその引用報告のみのようである。今回の資料は三重最北端に近い北勢町のものであるが、筆者の手元には名張市からの標本(名張市滝川：1♀, 12.VIII.1991, 田辺真吾 leg.)もあり、三重県一帯に広く分布すると思われる。
- Dalopius tamui* KISHII, 1957 ホソナカグロヒメコメツキ
 宮川村大台ヶ原：1♂, 11.VIII.1996, 燈火.
- Ectinoides insignitus insignitus* (LEWIS, 1894) ヨツキボシコメツキ
 亀山市野登山：1♂, 19.IV.1997; 4♂♂, 1.V.1997.
- Ectinus sericeus sericeus* (CANDÈZE, 1878) カバイロコメツキ
 四日市市宮妻峡：1♂, 25.V.1996.
- Nipponoelater sieboldi sieboldi* (CANDÈZE, 1873) オオナガコメツキ
 亀山市野登山：2♂♂, 2.VIII.1995, 燈火(1♂). 大安町石樽峠：1♂, 18.VIII.1996, 燈火. 伊勢市島路：1♀, 21.VII.1997.
- Dolerosomus gracilis* (CANDÈZE, 1873) キバネホソコメツキ
 四日市市小牧町北：1♀, 4.V.1997, 燈火.
- Silesis musculus musculus* CANDÈZE, 1873 クチブトコメツキ
 宮川村父ヶ谷：1 ex., 27.VIII.1995. 宮川村大台ヶ原広クリ谷：1 ex., 10.VIII.1996; 3 exs., 11. VIII 19-96. 亀山市野登山：1 ex., 17.VIII.1996. 大安町石樽峠：1 ex., 18.VIII.1996, 燈火. 伊勢市高麗広：1 ex., 21.VII.1997, 燈火.
- Glyphonyx bicolor bicolor* CANDÈZE, 1893 キバネクチボソコメツキ
 亀山市野登山：1♂, 2.VIII.1995; 2♂♂, 2.VIII.1995, 燈火; 1♂, 17.VIII.1996. 伊勢市高麗広：1♀, 21.VII.1997, 燈火.
- Glyphonyx illepidus* CANDÈZE, 1873 クチボソコメツキ
 尾鷲市三木崎：1♂, 8.VII.1995. 亀山市野登山：1♂, 2.VIII.1995; 1♂, 2.VIII.1995, 燈火.
- Melanotus legatus legatus* CANDÈZE, 1860 クシコメツキ
 松阪市松名瀬海岸：3♂♂, 29.VI.1996, 燈火. 四日市市小牧町北：2♂♂, 4.V.1997, 燈火.
- Melanotus correctus correctus* CANDÈZE, 1865 ヒラタクシコメツキ
 大内山村南亦山：1♂, 28.V.1995; 3♂♂, 21.V.1997; 2♂♂, 8.VI.1997.
- Melanotus legatoides* KISHII, 1975 ヒメクシコメツキ
 松阪市松名瀬海岸：1♀, 29.VI.1996.
- Melanotus erythropygus erythropygus* CANDÈZE, 1873 コガタクシコメツキ
 大内山村南亦山：1♂, 28.V.1995; 1♂, 10.VI.1995; 2♂♂, 2♀♀, 21.V.1997.
- Spheniscosomus japonicus* (OHIRA, 1974) ハネナガオオクシコメツキ
 亀山市野登山：1♀, 19.VII.1995. 上野市御齊峠：1♀, 6.VII.1997, 燈火.
- Spheniscosomus koikei* (KISHII et OHIRA, 1956) ヒラタクシコメツキ
 上野市御齊峠：1♀, 6.VII.1997, 燈火.
- Zorochros (Yamatostrius) albipilis* (CANDÈZE, 1873) シラケチビミズギワコメツキ (写真8)

松阪市松名瀬海岸：1 ex., 29.VI.1996.

本種は神島からの記録が知られているが、三重県本土からはこれが初めてのものと思われる。他地方では砂地性の海岸や河川の近くでそれほど珍しいものでもない。

Yukoana carinicornis (LEWIS, 1894) ヘリムネマメコメツキ

宮川村総門山：1♂, 29.IV.1997.

CANDÈZE (1873) の *Y. elliptica* と紛らわしい種であるが、最近の大平博士の研究により区別がしやすくなり、その結果これまで *elliptica* とされてきたものの殆どが *carinicornis* とみられる。

Dichronychus (Dichronychus) nothus (CANDÈZE, 1865) オオハナコメツキ

菰野町尾高：1♂, 4.VII.1997, 燈火.

Cardiophorus pinguis LEWIS, 1894 クロハナコメツキ

宮川村総門山：2♀♀, 29.IV.1997.

Cardiophorus niponicus LEWIS, 1894 ホソハナコメツキ

四日市市宮妻峡：1♂, 27.VI.1996.

Paracardiophorus pullatus pullatus (CANDÈZE, 1873) コハナコメツキ

四日市市西村町朝明川：3♀♀, 13.IV.1996.

Paracardiophorus sequens sequens (CANDÈZE, 1873) アカアシコハナコメツキ

松阪市松名瀬海岸：2♂♂, 3♀♀, 29.VI.1996; 2♂♂, 1♀, 30.XI.1996.

本州南西部で見られる個体群に比べ、近畿以北或いは以東に分布するものほど脚部が暗色化する個体の比率が高くなるようであり、中には全く黒色で、一見前種と見間違えるものもある。

(きしいたかし)

虫屋の広場 (14)

地域別総合甲虫目録 [IV]

◎区市町村単位目録・小地域目録 (その2)

表題や報告内容から該当地域の地方行政区域名が明確なものを集めた。複数の市町村に跨がる地域は除外されていると考えてよい。前回の続きであるが、その後入手した資料を追加したので、番号は新たに付け直した。(水野弘造 記)

01. 新潟県越路町

桜井精・山屋茂人(1998), 越路町の昆虫, 「越路町史, 別編1, 自然」(越路町), 327-412. コウチュウ目: 347-376. [62科, 559種]

02. 新潟県長岡市

山屋茂人(1998), 鋸山頂部の鞘翅目相, 長岡市立科学博物館研究報告, (33), 21-43. [49科, 319種]

03. 福岡県玄海町

城戸克弥(1998), 福岡市周辺離島の甲虫類[XIII]地ノ島(3), 北九州の昆虫, 45(1), 25-32. [115種], (合計) [293種]

04. 静岡県藤枝市

多比良嘉晃・松本雅道(1997), 藤枝市藪田湿地の昆虫類—1993年の調査報告, 環境システム研究, (4), 85-108. 鞘翅目: 94-100. [33科, 141種]

05. 石川県金沢市

大串龍一(1995), 金沢城跡産動物目録, 「城跡の自然誌—金沢城跡の動物相から」(十月社, 153+

- 76PP.), 1-76. コウチュウ目: 26-45. [60科, 424種]
06. 埼玉県大滝村
長島武志・谷口正行(1994), 滝沢ダム水没地域とその周辺の鞘翅目, 「秩父滝沢ダム水没地域総合調査報告書(上巻)自然編」(滝沢ダム水没地域総合調査会, 315PP.), 203-213. [27科, 162種]
 07. 福岡県福岡市
城戸克弥(1993-1994), 福岡市周辺離島の甲虫類 [V-VI]、玄界島(1-2), 北九州の昆虫, 40(2), 189-196. 41(1), 65-71. [40科, 219種]
 08. 大阪府大阪市
桂孝次郎ら(3名)(1993), 「靱公園の自然」(靱公園自然探求グループ), 196PP. 鞘翅目: 140-152. [31科, 126種]
 09. 三重県伊勢市
市橋甫・生川展行(1993), 伊勢市朝熊町で採集された甲虫類, ひらくら, 37(2)(320), 17-29. [34科, 152種]
 10. 神奈川県川崎市麻生区
倉形和男(1993), 川崎市麻生区産甲虫類目録, 神奈川虫報, (103), 1-34. [59科, 443種]
 11. 北海道十勝支庁上士幌町
芳賀馨(1993), 上士幌町上士幌駅跡土場で採集された甲虫, 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (15), 1-39. [58科, 320種]
 12. 埼玉県児玉町
長島武志(1993), 児玉町の甲虫類, 「児玉町史, 自然編」(児玉町, 614PP.), 463-483. [38科, 249種]
 13. 福岡県志摩町
城戸克弥(1992-1993), 福岡市周辺離島の甲虫類 [III-IV], 姫島(1-2), 北九州の昆虫, 39(2), 97-104. 40(1), 15-24. [42科, 254種]
 14. 山梨県早川町
早川和彦(1992), 「早川・野呂川水系の鞘翅目分布調査」(自刊), 1-65. [81科, 1166種]
 15. 愛知県豊橋市
長谷川道明・蟹江昇(1992), 豊橋市表浜海岸の海浜性甲虫類, 豊橋市自然史博研究報告, (2), 13-24. [31科, 141種]
 16. 岐阜県美濃市
大橋章博ら(3名)(1992), 訪花性誘引剤で捕獲された昆虫類, 岐阜県林業センター研究報告, (20), 15-48. [63科, 499種]
 17. 三重県鳥羽市
市橋甫ら(5名)(1992), 鳥羽市神島の昆虫, ひらくら, 36(4)(316), 51-65. 鞘翅目: 54-61. [37科, 150種]
 18. 福岡県新宮町
城戸克弥(1991-1992), 福岡市周辺離島の甲虫類 [I-II], 相ノ島(1-2), 北九州の昆虫, 38(1), 21-28. 39(1), 55-63. [40科, 239種]
 19. 福岡県宗像市
城戸克弥(1979-1992), 福岡県宗像市城山産鞘翅目目録の追加(1-14), 北九州の昆虫, 26(2)-39(1). (合計) [990種]
 20. 三重県尾鷲市
市橋甫ら(4名)(1991), 尾鷲市桃頭島の昆虫 III, ひらくら, 35(309), 33-44. [I; 30: 28-33.(86), II; 32: 40-54.(88)] (合計) [42科, 164種]

21. 山梨県韮崎市
水野弘造・細田倅市(1991), 鳳凰山産甲虫類目録 (山梨県韮崎市), 関西甲虫談話会資料, (2), 1-153. [108科, 2068種]
22. 奈良県奈良市
高橋敏(1991), 奈良公園の甲虫: 京都府南部の甲虫相との比較, 関西甲虫談話会資料 (1), 1-45. [90科, 1453種]
23. 岡山県高梁市
高梁市教育委員会(1991), 「高梁市臥牛山昆虫目録」, 100PP. 甲虫目: 青野孝昭; 15-50. [64科, 652種]
24. 香川県綾上町・高木真人(1991), 綾上町(羽床上)高尾付近の昆虫類, 「香川県仲多度郡岸上・帆ノ山台地および綾歌郡綾上町(羽床上)高尾付近の動植物現況調査報告書」(香川動植物の会), 81-96. 甲虫目: 85-89. [28科, 122種]
25. 群馬県館林市
大川秀雄(1991), 館林市のオサムシ科を除く甲虫と数種の昆虫目録, あしかがインセクト, (9), 1-11. [39科, 194種]
26. 岩手県陸前高田市
高橋泰美(1991), 陸前高田市で採集した甲虫類について, 岩手県産甲虫類分布資料, (1), 1-22. [45科, 230種]
27. 熊本県天水町
城戸克弥(1988-1991), 熊本県天水町の甲虫(1-6), 北九州の昆虫, 35(2)-38(2). (合計) [52科, 463種]
28. 岐阜県岐阜市
岐阜県昆虫分布研究会(1990), 岐阜ファミリーパーク内の昆虫相, 啓蟄, SUPPL.(1), 1-22. [185種]

虫屋の広場 (15)

第2回地表性甲虫談話会報告

1998年10月3日(土), 滋賀県立大学(彦根市)で, 日本昆虫学会第58回大会の小集会として開催された。八尋事務局長のあいさつの後, 次の演題の話題提供が行われ, 活発な討議の内, 成功裏に後の懇親会へと移行していった。

* 先史-歴史時代の地層中から産出した地表性甲虫化石 森 勇一(愛知県立明和高等学校)

* 伊那谷のアオオサムシ種群の地理的変異とその成因 永幡嘉之(米沢市立上杉博物館)

* オサムシ個体群の季節変動と環境選好性--信州大学農学部構内における調査から -- 中島 拓(総合科学株式会社)

出席者は40名を越え, 分類・生理・生態分野から古生物学・生物地理・環境選好性の分野まで拡がり, 今後の発展が期待される。

事務局は引き続き: 滋賀県立琵琶湖博物館 八尋克郎 (〒525-0001 草津市下物町1091) (伊藤建夫 記)

虫屋の広場 (16)

ハネカクシ談話会関西支部例会報告

表記の談話会が、10月25日大阪自然史博物館で9名参加して開催された。林 靖彦がキノコハネカクシ(*Bolitobius* 属)の種の検索など紹介し、また、吉田正隆氏が長期設置トラップ採集について装置や保存液の処方などを紹介した。なお日本鞘翅学会大会(松山市)ハネカクシ分科会が国立科博の野村周平氏を世話人に11月15日に行われているのであわせて報告しておく。これには北は北海道から南は沖縄まで、12人の参加があった。愛媛県小田深山のアリツカムシについて野村、山本栄治両氏から調査の概要が紹介された。一地方としては最大とも思われる、90種が発見され、そのうち51種がニューで、新属2を含むということである。一人一話など自己紹介もあり、交流の輪も広がりそうである。

(林 靖彦 記)

虫屋の広場 (17)

日本鞘翅学会大会報告

1998年の日本鞘翅学会大会は、11月14・15日に愛媛大学(松山市)で開催された。前年の記念大会程の出席者数ではなかったが、それでも多数の参加があり、懇親会は大いに盛り上がっていた。

初日は会務報告のあと、松山の殿様こと久松定成博士によるカブトムシの講演で始まったが、このカブトムシコレクションは圧巻で、きれいに整足された世界中のカブトムシがぎっしり詰まったドイツ箱が教室いっぱいに整然と並べられた様はまるで博物館の一室のようであった。各研究発表は、時流からか11の演題のうちDNAによる系統解析関係だけで3テーマあり、いつも乍らDNAによる解析結果は、従来のシステムとの比較において刺激的な内容であった。

二日目は午前中、地域自然史研究に関するシンポジウムが開かれていたが、一緒に四国へ来た家族へのサービスのため遅くなり、出席できなかった。午後の同定会では雑甲虫関係が盛況で、カミキリ屋の某女史の”もうカミキリの時代ではないわね”との咬きが印象的であった。分科会はゴミムシ部門に出席し、*Hexagonia* が *Chlaenius* と共にすすきの茎の中に棲んでいるという興味深い生態報告を聞いた。

なお今秋は林 匡夫・草間慶一両博士と秋山黄洋氏があいつで亡くなり、この大会でも黙祷が捧げられた。末筆ながらご冥福をお祈り申し上げる次第である。

(伊藤 昇 記)

会報

お知らせとお願い

昆虫学評論 54巻2号あるいは『ねじればね』(1999年末)を故林 匡夫会長の追悼の号として、追悼文・著作目録・献名リスト及び論文等の掲載を計画しております。ご意見をお寄せいただくとともに、追悼文と論文を募集致しますので奮って投稿の程よろしくお願い致します。(運営委員会)

9月例会(1998年)報告

1998年9月27日、大阪市立自然史博物館に於いて開催された。春沢圭太郎氏(大阪狭山市)による”ベッコウヒラタシテムシの飼育”, 初宿成彦氏(大阪市立自然史博物館)による”中国・陝西省での甲虫調査”の二題についてそれぞれカラスライド多数による解説があり, その後, 恒例の一人一話で和気あいあいの例会となった。3月の例会での首吊り死体の発見談につづき, 今回は, 海浜昆虫調査中に溺死体に出くわした話があり, あるいは, 餌付けしたタヌキに展足中の標本を台無しにされたという涙の物語ありで, 多方面に活躍される会員諸氏の活きた体験談は講師お二人に負けず劣らず参加者を魅了するものであった。(水野弘造 記)

出席者(アルファベット順)

濱口正博 春澤圭太郎 林 靖彦 稲畑憲昭 伊藤建夫 河上康子 岸井 尚 北山 昭 楠井善久 松田吉弘 水野弘造
生川展行 野村英世 奥田則雄 大塚良政 初宿成彦 田中昭太郎 谷角素彦 八木正道 横関秀行 吉田正隆

特別例会報告

1998年10月2-4日、彦根の滋賀県立大学に於て日本昆虫学会が開催され, 本会の特別例会がその専門別小集会として, 4日PM 4時過ぎから日本鞘翅学会と共催で開かれた。滋賀大の近 雅博さんが世話人となり, 次の話題提供があった。オオオサムシ亜属の形態学による系統(高見泰興), 種間雑種と種分化(久保田耕平), 分子系統, 生物地理学(曾田貞滋)。

甲虫学会関係者の参加も多くあり, 鞘翅学会と合わせて40名余の参加があった。終了後懇親会がもたれたが, 昆虫学会最終日のこともあり, また前日の地表性甲虫談話会の懇親会の煽りもあって, やや静かなものとなった。来年(1999年)は松山で行われるがより多くの参加を期待したい。

(林 靖彦 記)

発行: 1998.12.15 日本甲虫学会
(本部) 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-2-3 大阪市立自然史博物館・昆虫研究室気付
振替口座: 00990-8-39672 <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/jcs.html>
Tel: 06-697-6221 Fax: 06-697-6225 E-mail: shiyake@mus-nh.city.osaka.jp

昆虫学評論原稿送付先
〒666-0116 川西市水明台3-1-7-3 林 靖彦 Tel. 0727-93-3712

ねじればね原稿送付先
〒611-0002 宇治市木幡熊小路1-9-3-5 水野弘造 Tel. 0774-32-4929
〒614-8371 八幡市男山雄徳8 E 7-3 0 3 伊藤建夫 Tel.(Fax) 075-983-3491

入会及び会費問合せ先
〒590-0144 堺市赤坂台1-1-8-5 野村英世 Tel. 0722-98-4066